

令和4年度 幼稚園「中堅教諭等資質向上研修」評価参考例

研修領域	評価項目
<p>保 育 専 門 研 修</p>	<p>1 幼児の指導に関する評価項目</p> <p>(1) 計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 園の教育課程の具体的実施計画として、長期、短期の指導計画を構造的に作成している。 ② 個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している。 ③ 日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに教員間で話し合い、次の指導計画に生かしている。 ④ チーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い指導計画を作成している。 <p>(2) 環境設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 幼児の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している。 ② 他学級との関係、自然環境、地域の特徴なども生かす保育の場の設定をしている。 ③ 季節、一日の流れなどの時間的要因も環境として捉えて、保育に生かすよう配慮している。 ④ 幼児の実際の活動に合わせて、的確に環境を再構成できる。 <p>(3) 保育の方法・展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 個々の幼児の特性を理解し、担当の幼児同士の関係を的確に把握している。 ② 温かい態度で受けとめることによって、幼児の緊張、不安をうまく解消している。 ③ 個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築くことができる。 ④ 幼児と共に活動することを心から楽しむことができる。 ⑤ 幼児と共感し、満足感や心の安定を与えている。 ⑥ 活動の中で、善悪の判断、思いやりの気持ちなどを、適切な言葉と行動で示している。 ⑦ 個々に応じた適切な援助を行っている。 <p>2 学級経営その他に関する評価項目</p> <p>(1) 学級経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 個々の幼児を学級の一員として大切にすることにより、幼児同士もお互いを大切にする学級になっている。 ② 施設設備の安全管理、幼児への安全指導が万全である。 <p>(2) 保護者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 家庭との連携が緊密で、個々の幼児について入園前や、家庭での生活の様子も把握し保育に生かしている。 ② 保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすとともに子育ての相談相手となっている。 ③ 事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である。 <p>(3) 地域との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 機会をとらえて地域の人に幼稚園を理解してもらうよう努力している。 ② 地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある。 ③ 地域の人材、施設、自然などを保育に組み入れようという意識をもっている。 <p>(4) 園務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている。 ② 園の運営について自分のこととして常に考え職員会議等においても建設的な発言をする。 ③ 必要に応じて園長などにきちんと報告、連絡、相談を行う。 <p>(5) 向上心</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自分の保育の評価を的確に行い、改善を図っている。 ② 園など職場が用意した研修機会に積極的に参加し資質向上に努めている。 ③ 自主的に園外の研修等に参加し、研修成果を実践に生かしている。